

白川河川激甚災害対策特別緊急事業の概要

この災害に対して、白川水系白川及び黒川は河川激甚災害対策特別緊急事業(激特事業)として採択されました。



熊本市街部を流れる白川水系白川の県管理区間では、今回と同程度の洪水に対し、家屋の浸水被害を解消することを基本に、河道掘削、築堤等の河川改修を集中的に実施します。

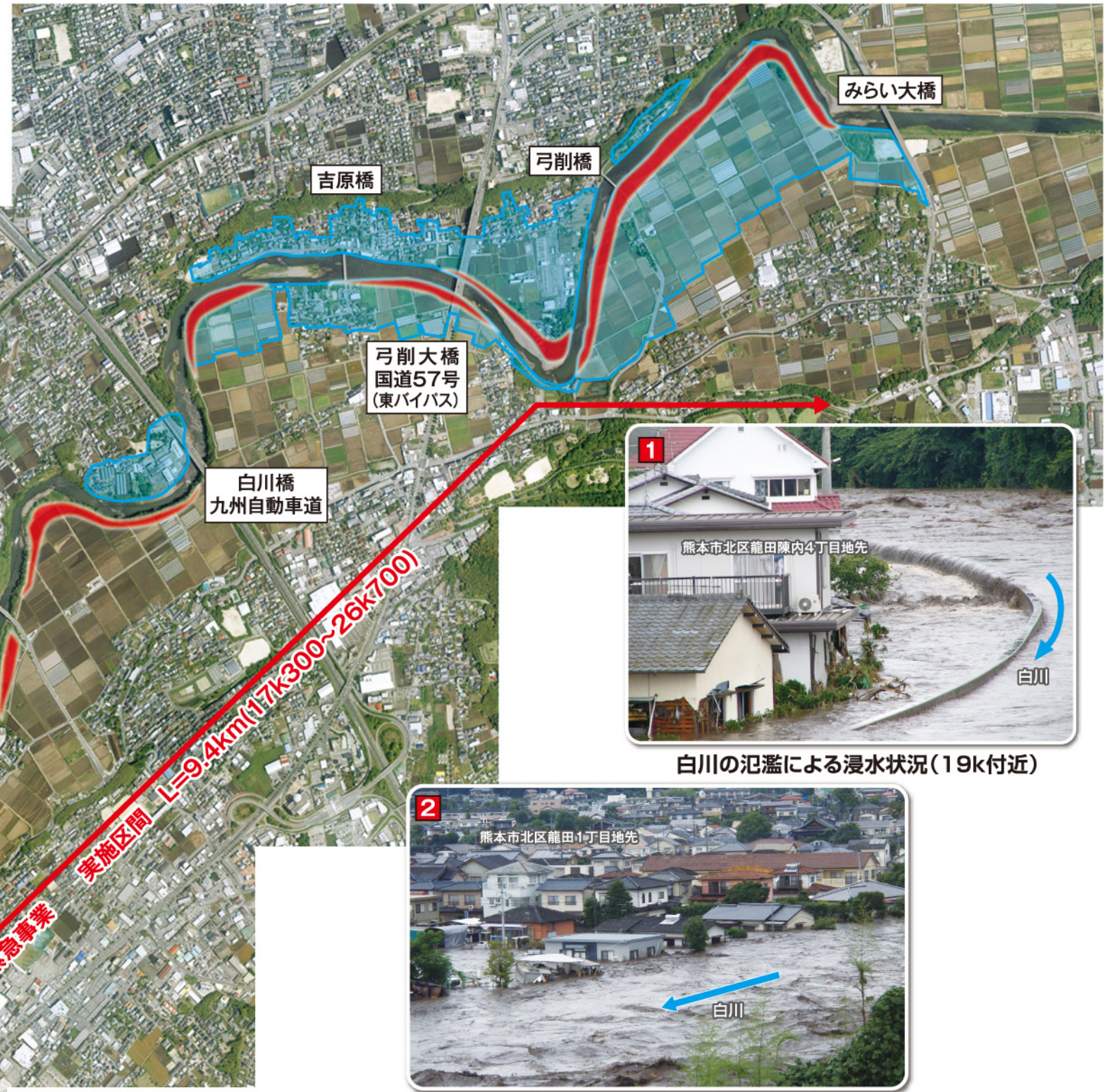
※河川激甚災害対策特別緊急事業

洪水、高潮、地震等による激甚な災害に対して、概ね5年間の緊急的な集中投資により、再度災害防止を図る事業

事業計画概要

総事業費	117億円
事業期間	平成24年度～概ね5年間
事業区間	17k300～26k700 (9,400m)
事業箇所	熊本市北区龍田陳内地先 外
主な工事内容	河道掘削、築堤 等

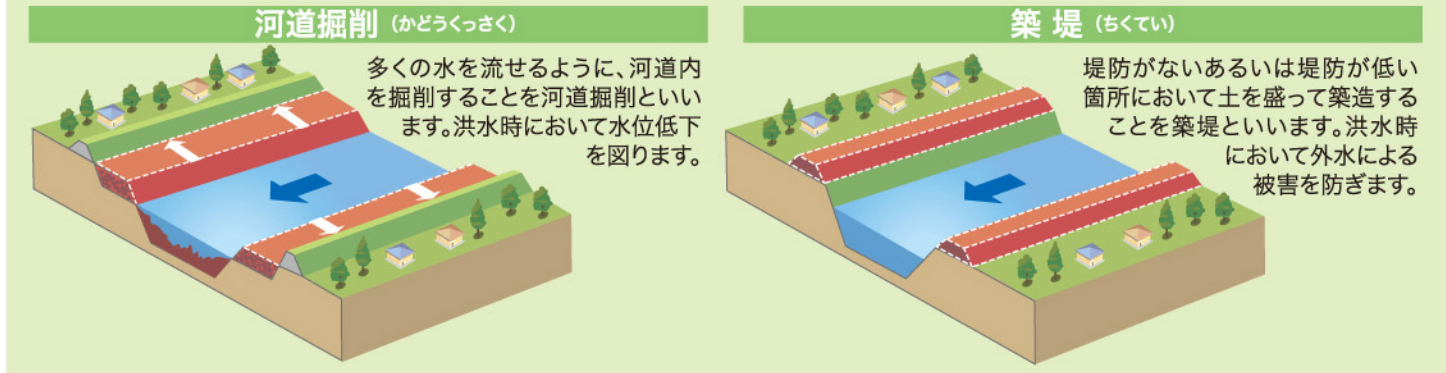
凡例	
	浸水エリア
	整備箇所



白川の氾濫による浸水状況(19k付近)

白川の氾濫による浸水状況(21k付近)

対策イメージ図



河道掘削 (かどくっさく)
多くの水を流せるように、河道内を掘削することを河道掘削といいます。洪水時において水位低下を図ります。

築堤 (ちくてい)
堤防がないあるいは堤防が低い箇所において土を盛って築造することを築堤といいます。洪水時において外水による被害を防ぎます。